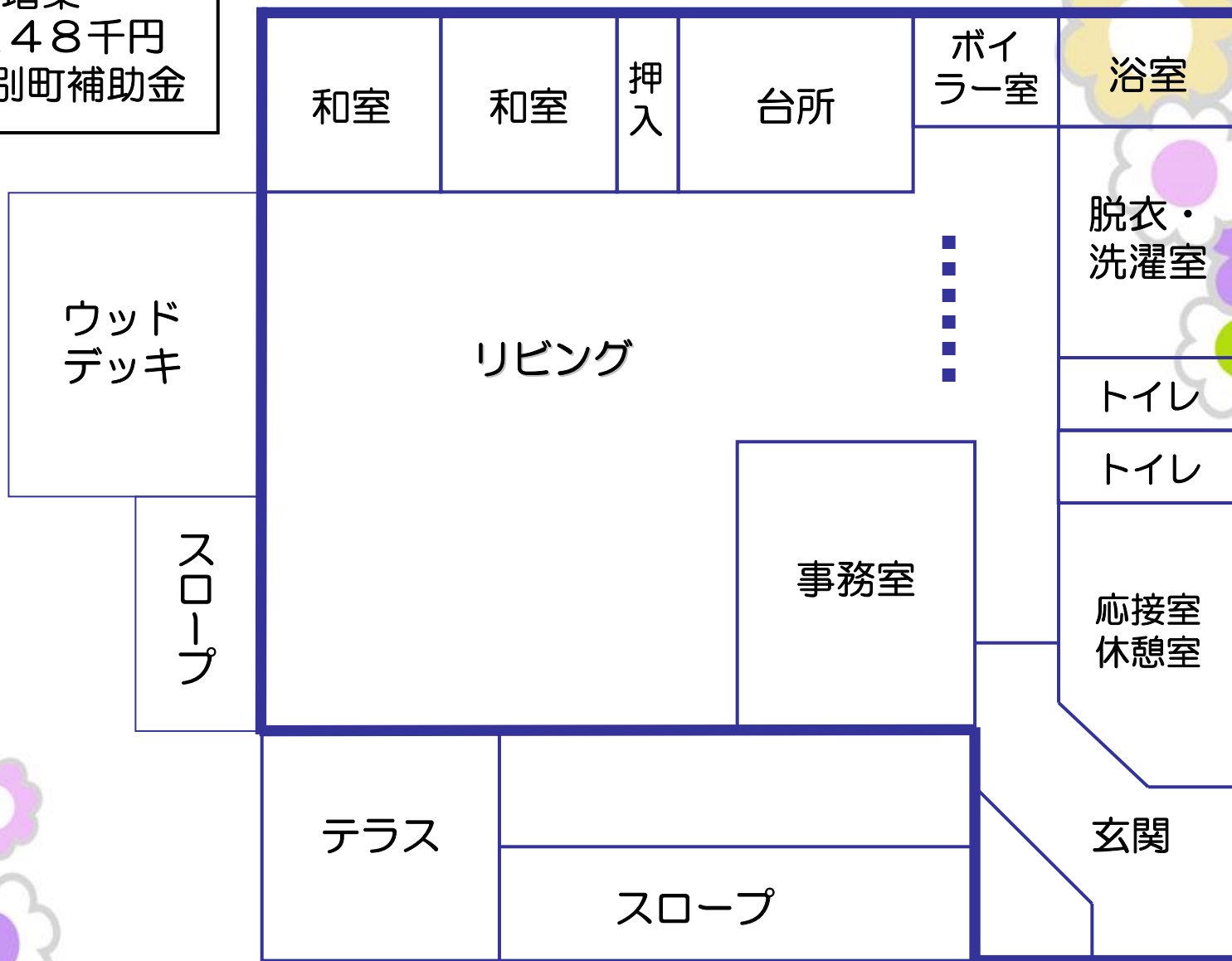


延床面積  
181,64㎡

平成21年9月  
増築  
6,248千円  
※ 本別町補助金



## 勇足 小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護



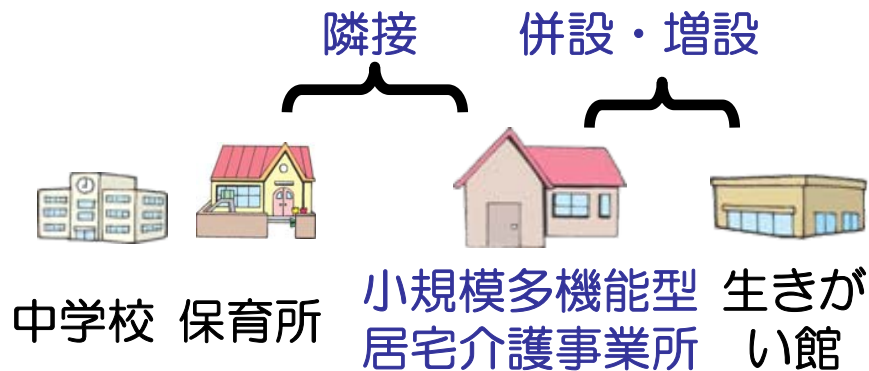
介護保険法に定められた地域密着型サービスの一類型で、要介護等の状態になっても住み慣れた地域での生活を24時間体制で支えることを理念としている。サービスは、介護支援専門員（ケアマネジャー）が作成するケアプランに基づいて提供され、家庭的な雰囲気や顔なじみの関係を重視しつつ、利用者の状態、希望、環境等をふまえて、通い・訪問・泊まりを柔軟に組み合わせて提供する。

また小規模多機能型居宅介護事業所が併設されている行政施設「勇足いきがい館」では乳幼児・児童・地域住民の集いの場として「ゆうゆうサークル」が地域住民主体による運営委員会及びボランティアによって開催されており、子供・高齢者・地域の世代間・地域交流促進を通じたネットワークづくりに取り組んでいる。

※ 平成23年度実績  
3月時点録者数：19人



# 勇足小規模多機能型居宅介護 周辺図



至  
本別市街



ガソリンスタンド跡地



駐在所

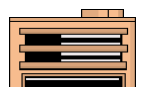


郵便局



国道242号

至  
池田町



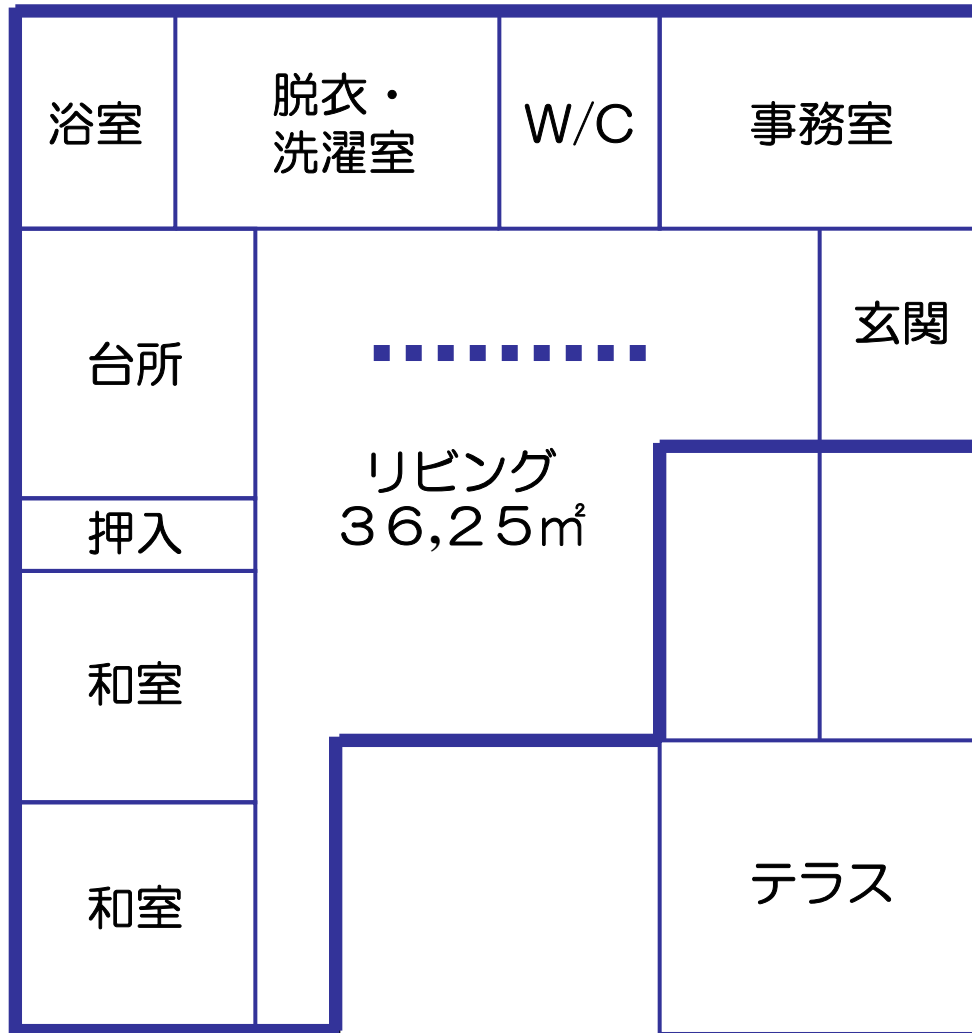
地区公民館



小学校



延床面積  
100,44㎡



勇足いきがい館  
への渡り廊下

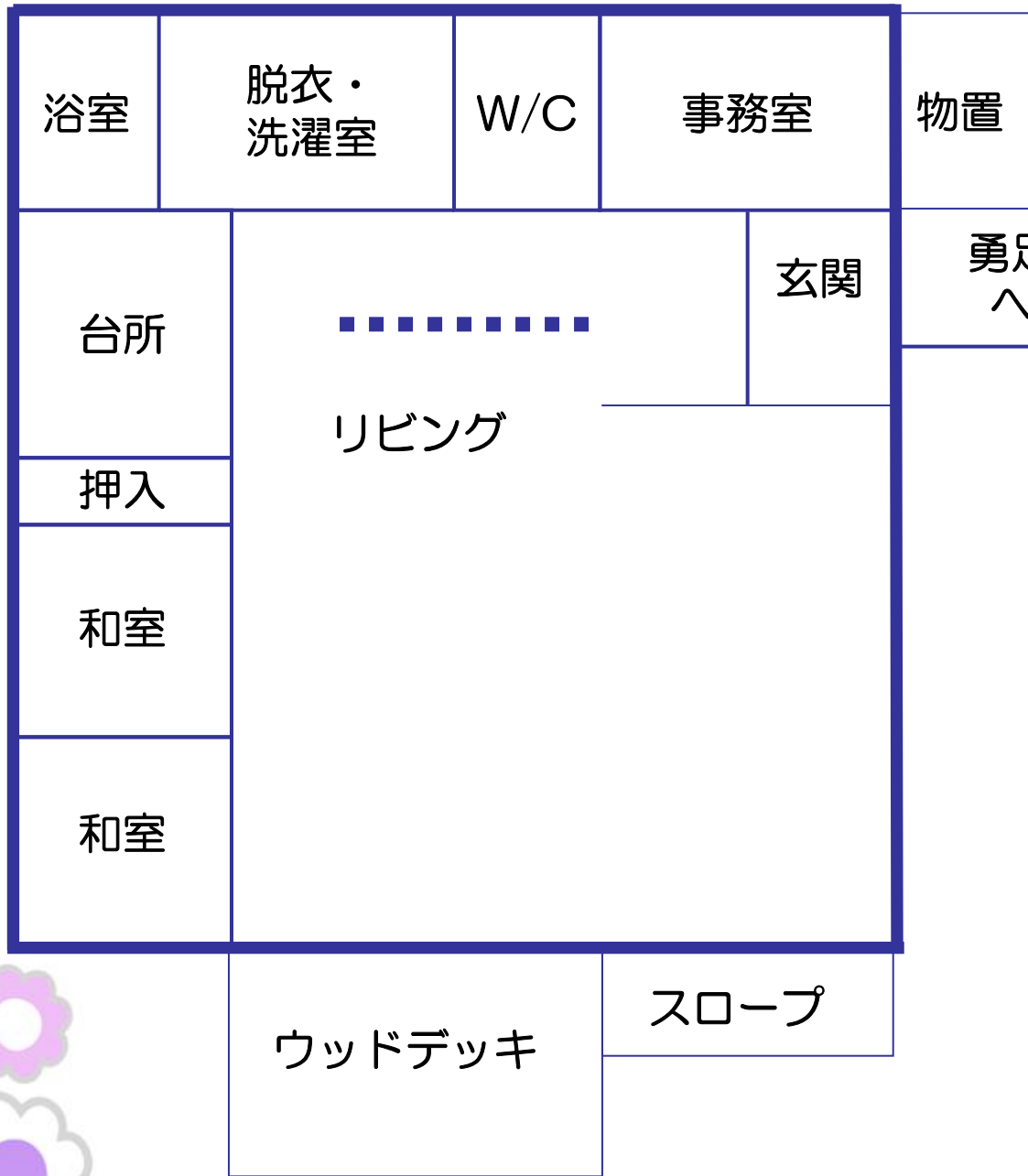
敷地面積  
1,217㎡  
町有地：無償借受

勇足 いきがい館



勇足小規模多機能型居宅介護事業所 ゆうあいの里 総工費：17,275千円  
開設：平成19年12月1日  
※ 国の交付金、本別町補助金、自主財源により建設





延床面積  
144,18㎡

勇足いきがい館  
への渡り廊下

平成21年9月  
増築  
6,489千円  
※ 本別町補助金

# 本別北 小規模多機能型居宅介護事業所 共生型地域交流拠点



介護保険法に定められた地域密着型サービスの一類型で、要介護等の状態になっても住み慣れた地域での生活を24時間体制で支えることを理念としている。サービスは、介護支援専門員（ケアマネージャー）が作成するケアプランに基づいて提供され、家庭的な雰囲気や顔なじみの関係を重視しつつ、利用者の状態、希望、環境等をふまえて、通い・訪問・泊まりを柔軟に組み合わせて提供する。

※ 平成23年度実績 3月時点登録者数：23人

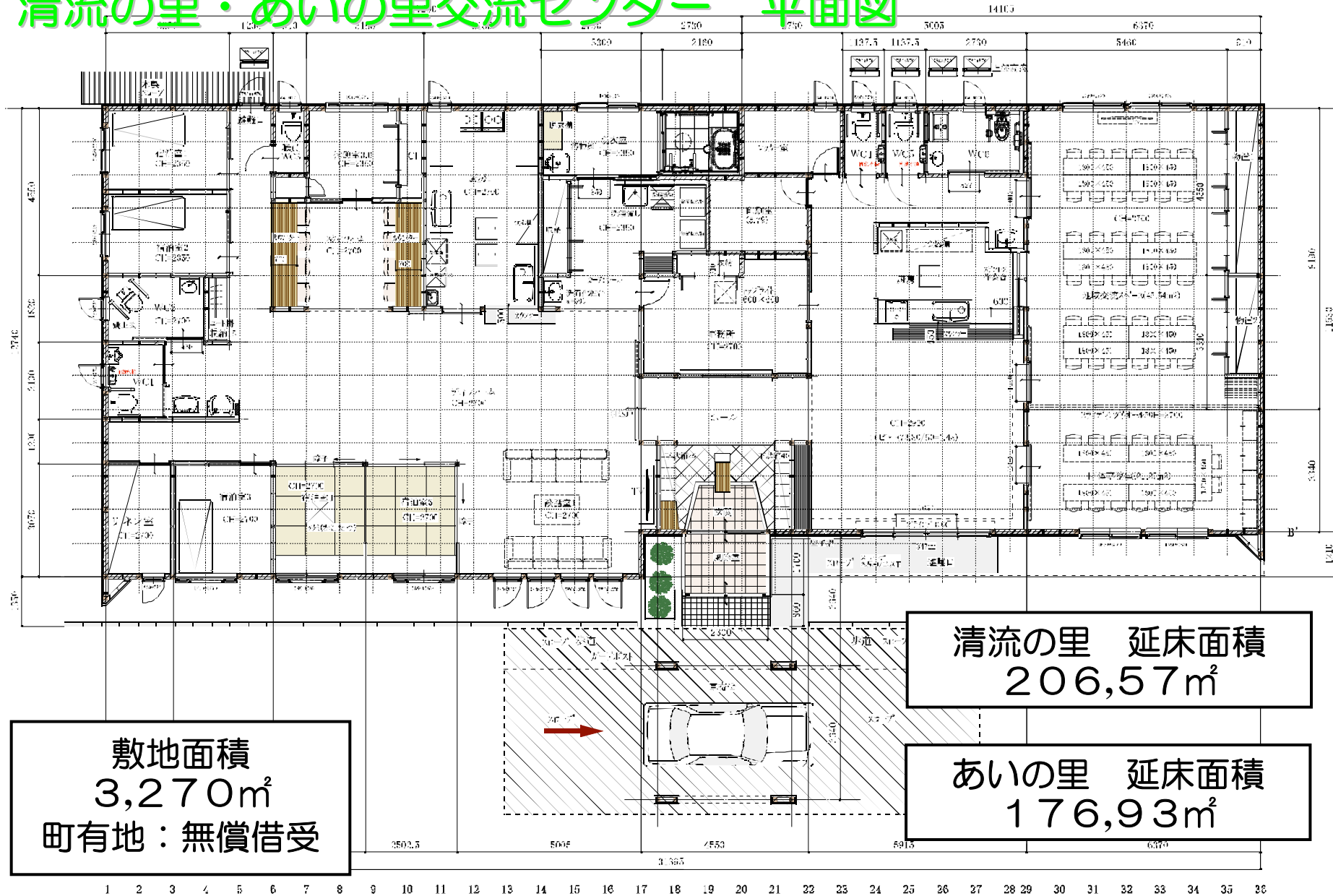
共生型地域交流拠点は、高齢者・障がい者・児童・地域のみなさんが活躍できる場づくりの一環として整備。



# 本別北小規模多機能型居宅介護 周辺図



# 清流の里・あいの里交流センター 平面図



敷地面積  
3,270m<sup>2</sup>  
町有地：無償借受

清流の里 延床面積  
206,57m<sup>2</sup>

あいの里 延床面積  
176,93m<sup>2</sup>

本別北小規模多機能型居宅介護事業所 清流の里 総工費：43,552千円

開設：平成23年2月7日

※ 国の交付金、本別町補助金、自主財源 により建設

共生型地域交流拠点 あいの里交流センター 総工費：36,000千円

開設：平成23年2月7日

※ 国の交付金、本別町補助金、自主財源 により建設



# 高齢者住宅

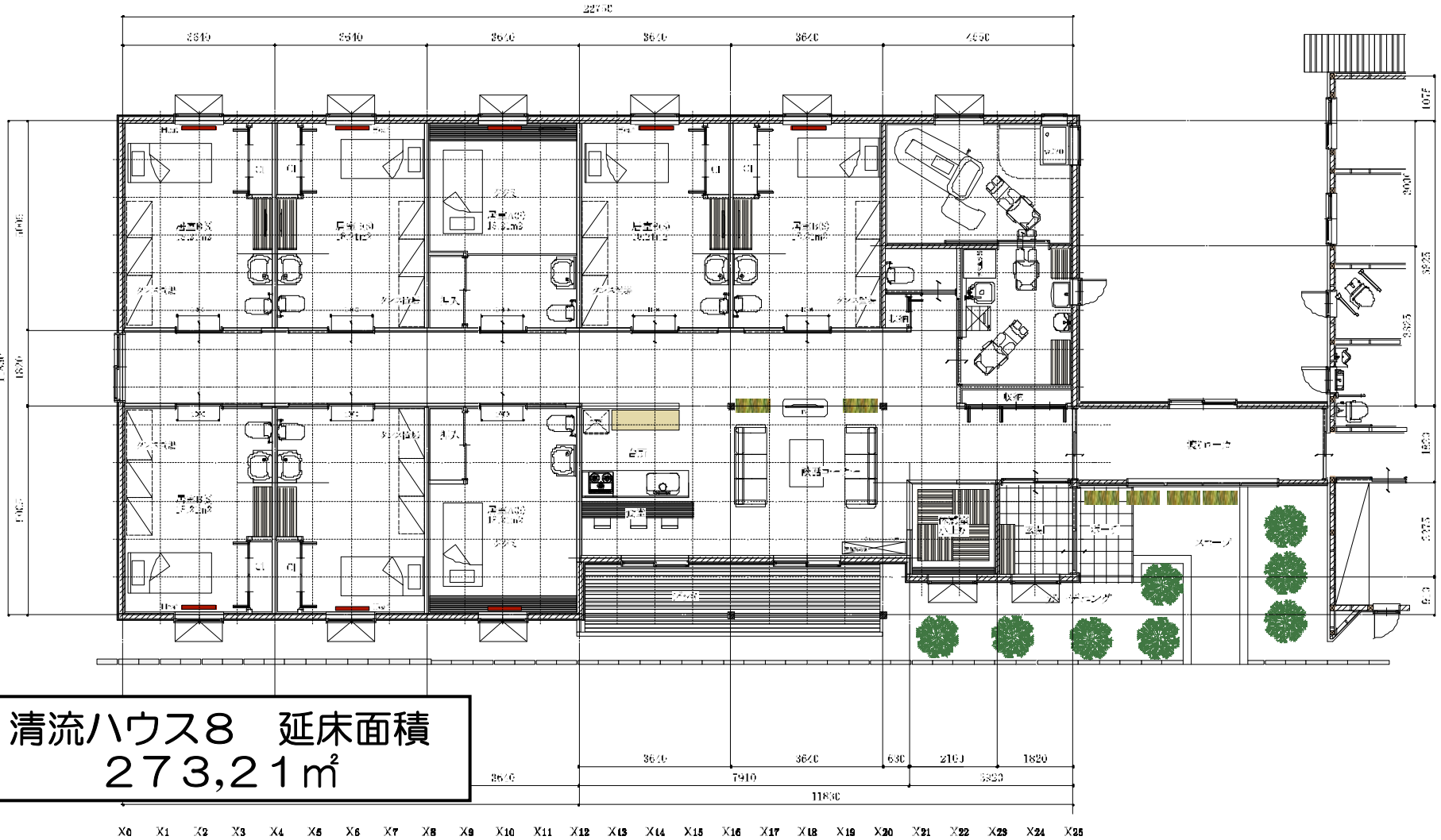


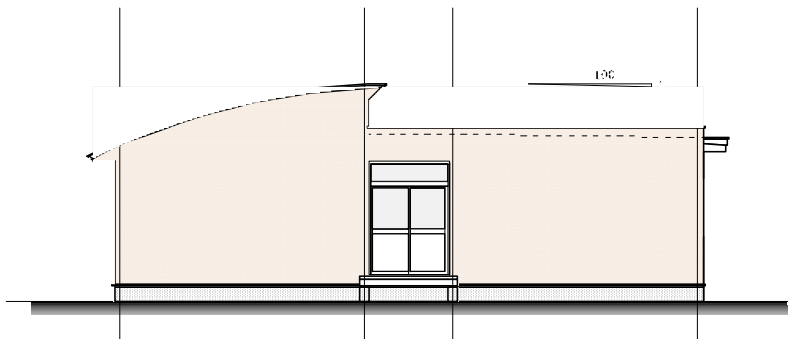
小規模多機能型居宅介護事業所の実践を通じて、通い・訪問・泊りサービスを複合的に提供するだけでは、在宅生活を支えきれないという方もいるという課題に直面し、一時的な泊りサービスだけでなく、連続した泊りサービスを提供してきた経過がある。

上記の課題に対して、清流の里に併設した高齢者住宅(8戸)を整備することにより、中等度以上に介護が必要な状態となっても、施設入所や町外転居をすることなく、住み慣れた地域で暮らし続けることを支援したい。



# 清流ハウス8 平面図

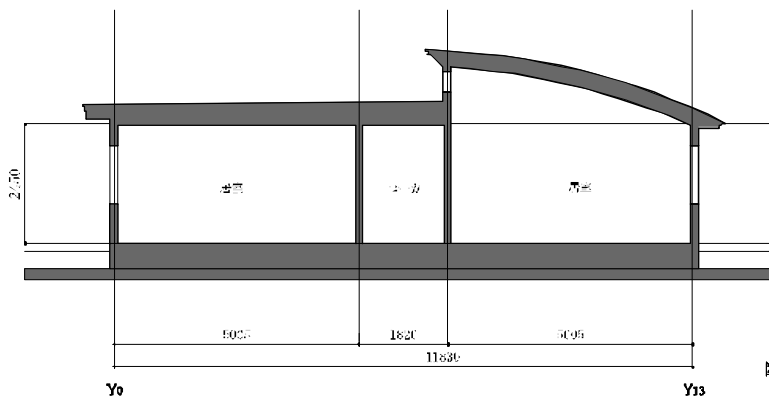




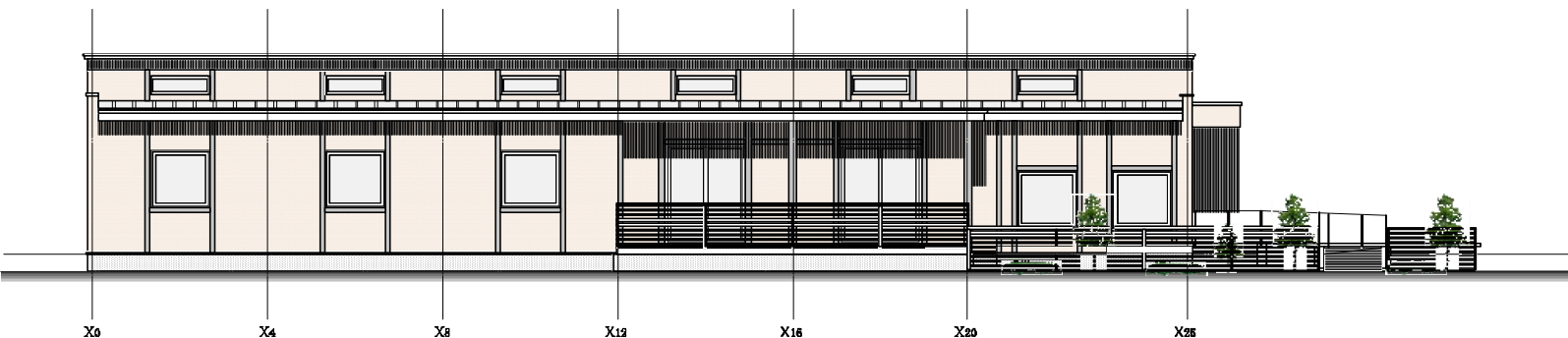
西立面図



# 清流ハウス8 立面・断面 内観イメージ



断面図



南立面図



高齢者住宅 清流ハウス8 総工費：49,810千円  
開設：平成23年11月10日  
※ 国の交付金、本別町補助金、自主財源 により建設



## 課題

### ❁ 人材の確保

介護職・介護支援専門員・看護師の確保が難しい

### ❁ 平均介護度が低い

国の平均 2.46 に対し、本別町は 1.52

### ❁ 通院送迎の増大

対象者増加に伴い、人的コストも増加

## 対策

❁ サービスの質の向上⇒利用者・スタッフが集まりたくなる事業所づくり  
利用者サービスは当然であるが、スタッフがやりがいと誇りがもてる事業者となるべく、介護・看護・栄養の多職種協働を推進し、サービスの向上に努める

### ❁ 人員の適正配置

質的担保と事業継続の両立を図る収支構造構築の努力

# 提案

- ❁ 通院送迎対象者：8名 訪問サービス利用者：14名（多い方は5回/日）おり、通いサービス主体では支えきれず、緊急時の訪問サービスではなく、恒常的な訪問サービス利用が増加してきている。  
⇒通いサービス利用時の往診等が認められれば、利用者・家族と事業所の負担が軽減できる
- ❁ 介護報酬の適正化
  - 地方では人材確保が困難。場合によっては給与面での工夫が求められる
  - 訪問サービスの増加や恒常化により、実態に即した人員配置が求められる
  - ⇒事業実態や地域特性に配慮した介護報酬改定



7. 「介護予防小規模多機能型居宅介護」を実施していますか。

- ①実施している(6)                      ②実施していない(0)

8. 当該事業所の他の「小規模多機能型居宅介護事業所」を開設していますか。

- ①開設している・・・他に( )ヶ所(3)  
 ②開設を検討または準備している(0)  
 ③開設していないし予定もない(3)

9. 運営推進会議のメンバーについてお聞かせ下さい。(平成23年11月1日現在)

利用者	利用者家族	住民代表	市区町村職員	包括職員	その他( )
人	人	人	人	人	人

10. 運営推進会議の開催頻度を教えてください。

- ①( )月・年に( )回程度(1)  
 ②不定期(1)                      ③開催できていない(0)

11. 運営推進会議での議題は、どのようなことが多いですか。(0)

- ①事業所からの事業内容報告                      ②利用者に関する情報  
 ③利用者や家族の不満、苦情への対応                      ④地域情報の交換  
 ⑤利用者や地域ニーズへの提案                      ⑥その他( )

12. 運営推進会議の効果や影響はありますか。

	1. 有り	2. やや有り	3. あまり無い	4. 無い
①利用者や家族を理解すること	( 1(2) )	( 2(2) )	( 3(1) )	( 4(1) )
②自治体や行政との協力体制	( 1(3) )	( 2(1) )	( 3(1) )	( 4(1) )
③医療関係との協力体制	( 1(2) )	( 2(0) )	( 3(3) )	( 4(1) )
④事業所と地域住民の交流	( 1(3) )	( 2(0) )	( 3(2) )	( 4(1) )
⑤事業所の地域への貢献	( 1(4) )	( 2(0) )	( 3(1) )	( 4(1) )
⑥緊急時の近隣住民の協力体制	( 1(3) )	( 2(2) )	( 3(1) )	( 4(0) )
⑦利用者の確保	( 1(2) )	( 2(2) )	( 3(1) )	( 4(1) )
⑧その他( )	( )	( )	( )	( )

13. 市区町村または都道府県連絡協議会へ参加していますか。

- ①はい(2)                      ②いいえ(3)

【Ⅱ】雇用状況についてお伺いします。

1. 職員数についてお伺いします。

勤務形態					保有資格（複数回答可）							
常勤・非常勤			専従・兼務		介護支援専門員	看護師	准看護師	介護福祉士	社会福祉士	ヘルパー一級	ヘルパー二級	
正規職員	常勤（正規以外）	非常勤・パート	専従	兼務								
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	

2. 夜勤職員配置体制について記入してください。  
 （直近にの宿泊利用者の有無別、夜勤職員配置状況）

	夜 勤		宿 直		事業所外待機	
	看護職員	介護職員	看護職員	介護職員	看護職員	介護職員
宿泊者有り（ 人）	人	人	人	人	人	人
宿泊者なし	人	人	人	人	人	人

3. キャリアパス制度の導入についてお聞きします。

- ①導入している（西暦 年から）(5)
- ②検討中である(1)
- ③導入の予定はない

4. 職員研修体制について

- ① 全職員対象の内部研修を実施している(0)
- ② ②全職員ではないが内部研修を実施(0)
- ③ 全職員対象の外部研修を実施している(0)
- ④ ④全職員ではないが外部研修を実施(1)
- ⑤その他（ )

5. 職員研修で特に重要と思うものは何ですか。(5)

( )

6. 職員のスキルアップ、キャリアアップの支援について。

- ①外部研修参加時の給与 ⇒ ①有給(4) ②無給(1)
- ②外部研修・講習の参加費 ⇒ ①支給有り（ア. 旅費(2) イ. 参加費(3) ウ. 日当(2)）

②支給なし

③新たな資格取得の手当 ⇒ ①有り(4) ②無し(1)

7. 職員の確保や離職を防ぐために留意している点、また必要と思われる対策についてお聞かせ下さい。(5)

### 【Ⅲ】提供サービスについて

#### 1. 定員数

①登録定員 ( ) 人

②通いサービス利用者 ( ) 人

③泊まりサービス利用者 ( ) 人

#### 2. 生活保護受給者がいますか。

①いる ( ) 人(5) ②いない(1)

#### 3. 生活保護受給者の小規模多機能利用にあたり課題と思われることがありますか。(5)

#### 4. 宿泊室の数と利用料金

種類	室数	料金
個室	室	1泊 円
個室以外	室	1泊 円

#### 5. 食事料金について

朝食	昼食	夕食	おやつ	特別食
円/食	円/食	円/食	円/食	( )食 円/食

#### 6. 営業時間について (0~24 までの時間表記) (例 9:00~18:30)

通いサービス	訪問サービス	泊まりサービス
: ~ :	: ~ :	: ~ :

### 【Ⅲ】-1 通いサービスについて

#### 1. 通いサービスで行っていることについてお聞きします。

1. よく行う	2. 月に1~数回	3. 年に数回	4. 行わない
---------	-----------	---------	---------

①利用者と共に行う調理など ( 1(1) ・ 2(2) ・ 3(2) ・ 4(1) )

- ②手足の運動などのリハビリ ( 1(5) ・ 2(0) ・ 3(1) ・ 4(0) )
- ③利用者同士の交流 ( 1(6) ・ 2(0) ・ 3(0) ・ 4(0) )
- ④外部者による園芸・音楽療法など ( 1(5) ・ 2(0) ・ 3(0) ・ 4(0) )
- ⑤事業所での地域住民との交流 ( 1(3) ・ 2(0) ・ 3(1) ・ 4(2) )
- ⑥事業所外での地域住民との交流 ( 1(2) ・ 2(1) ・ 3(0) ・ 4(3) )
- ⑦利用者の家族との交流 ( 1(2) ・ 2(1) ・ 3(1) ・ 4(2) )
- ⑧利用者との外出 ( 1(5) ・ 2(0) ・ 3(1) ・ 4(0) )

2. 「音楽療法」は実施していますか。

- ①実施している 月 ( ) 回 ( ) 時間(6)
- ②していない(0)

3. その他に他事業所と差別化を図って実施している取り組みはありますか。

- ①ある ( ) (6)
- ②特にない(0)

4. 実施している取り組みでどのような効果、変化がありましたか。(5)

( )

5. 今後、取り組みたいと思っっていることが何かありますか。(3)

( )

6. 通いサービスの課題と思われることを上げてください。(4)

### 【Ⅲ】-2 訪問サービスについて

7. 訪問サービスの提供時間の目安について

要支援 1~2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
分	分	分	分	分	分

8. 過去 6 ヶ月で緊急要請の夜間訪問サービスがありましたか。

- ①あった ( 回) (6)
- ②なかった

9. 訪問サービスの課題について

1. そう思う	2. やや思う	3. あまり思わない	4. 思わない
---------	---------	------------	---------

- ① 利用者の要望に沿うことが多く自立支援ができていない  
( 1(0) ・ 2(0) ・ 3(4) ・ 4(2) )



（ ） 月	登録者数								
	実人員								
	延べ利 用者数	通い							
		訪問							
	泊まり								
（ ） 月	登録者数 （予定）								

## 【V】事業経営の状況

### 1. 利用者の募集について

①現在の利用者はどのような経路で登録に至りましたか。

- (1) 地域包括支援センターなどの公的機関からの紹介 ( ) 人
- (2) 居宅介護支援事業所のケアマネからの紹介 ( ) 人
- (3) 医療機関 SW からの紹介 ( ) 人
- (4) 民生委員や区役所などからの問い合わせ ( ) 人
- (5) 家族などからの直接の問い合わせ ( ) 人
- (6) 本人から直接問い合わせ ( ) 人
- (7) 他の介護サービス事業所からの紹介 ( ) 人
- (8) 近隣の住民からの紹介 ( ) 人
- (9) その他 ( ) ( ) 人

2. 利用者募集の PR は主にどのように行っていますか。

- ① 居宅介護支援事業所ケアマネに呼びかけている。(2)
- ② 新聞・病院等に広告を掲載・掲示している。(0)
- ③ エリア内にチラシ、パンフを配布している。(1)
- ④ 町内会の回覧板等を通して PR している。(0)
- ⑤ 地域包括支援センターの研修等で呼びかけている。(0)
- ⑥ 同法人の関連事業所へ呼びかけている。(2)
- ⑦ シンポジウムや講演会を開催している。(1)
- ⑧ 施設見学会を開催している。(1)
- ⑨ その他 ( ) (0)

3. 利用のきっかけで多いものを教えてください。

- ① 特養・グループホーム等の入所待機のため(1)
- ② 退院後の自宅生活困難(2)
- ③ 通所、訪問等の自己負担額合計が高額なため(1)

- ④ 家族の要望(1)
- ⑤ 住み慣れた自宅・地域を離れたくないため(2)
- ⑥ 認知症のため自宅に一人でいるのが困難(2)
- ⑦ 本人・家族の希望に沿う柔軟な対応が可能のため(1)
- ⑧ その他 ( ) (0)

4. 利用者が契約に至らない主な理由は。

- ① 定員を超過して利用できないため(2)
- ② ケアマネジャーが変更になるため(2)
- ③ 他のサービス（デイなど）が利用できないため(2)
- ④ 重度認知症で事業所が引き受けないため(2)
- ⑤ 他施設等の利用でできた関係があるため(2)
- ⑥ 住まいがエリア外で利用できないため(0)
- ⑦ エリア外で送迎費用がかかるため(0)
- ⑧ その他 ( ) (1)

5. 募集エリアは次のどれですか。

- ① 事業所を中心として中学校区（健常者の徒歩圏）程度(1)
- ② 事業所所在の市区町村内(3)
- ③ 事業所の車送迎の可能な範囲（片道 分程度 km以内）(1)
- ④ その他 ( )

6. 地域連携のためにどのような活動を行っていますか。

- ① 特に行っていない。（理由 ) (1)
- ② 事業所独自の広報紙を作成、配布している。(0)
- ③ 町内会行事、地域行事に参加している。(1)
- ④ 地域住民が事業所を訪問する機会を設けている。(0)
- ⑤ シンポジウム・講演会等を開催している。(0)
- ⑥ その他 ( ) (0)

7. 医療機関との連携はありますか。

(1) 緊急時対応提携医療機関

- ①あり(6) ⇒ア. 総合病院 イ. 個人病院 ( ) 科
- ②なし

(2) 訪問診療提携医療機関



3. 介護保険サービス関連施設(4)

4. その他、自治体独自サービスなどの状況など(1)

2011年度

小規模多機能調査 利用者・家族介護者調査 (2011年 月 日)

調査者名 回答者名

No. 名前 (1. 男 2. 女) 住所・TEL

※回答者が家族の場合は、【Ⅰ】、【Ⅱ】、【Ⅲ-2】、【Ⅳ】に記入

〃 が利用者の場合は、【Ⅱ】、【Ⅲ-1】に記入

【Ⅰ】 家族者介護者についてお伺いします。

1. あなたの年齢は ( ) 歳、または (大・昭和 年生まれ) (5)
  
2. あなたは被介護者と同居していますか  
①同居している(3)  
②別居している (被介護者宅との距離は ) (2)
  
3. あなたの家族構成は  
①独居(0) ②夫婦のみ(5)  
③その他の家族と同居(0)  
(既婚の息子家族、既婚の娘家族、未婚の娘、未婚の息子、その他 ( ) (0)  
④その他 ( ) (0)
  
4. 被介護者と同居している場合、他の別居の家族は誰ですか  
( ) (3)
  
5. 被介護者から見たあなたの続柄  
①配偶者(2) ②同居の息子(0) ③同居の嫁(0) ④同居の娘(1) ⑤別居の娘(0)  
⑥別居の息子(1)⑦別居の嫁(0) ⑧その他 (続柄 ) (1)
  
6. あなたの住宅の状況は  
①自分の持ち家(5) ②子または親の家(0) ③市営・道営住宅(0) ④民間の貸家(0)  
⑤老人用ケアハウス(0) ⑥その他 ( ) (0)  
調査員状況メモ ( )
  
7. あなたの世帯主の収入源は  
①国民年金 (誰の ) (4) ②厚生年金 (誰の ) (4) ③障害者年金 (誰の ) (0)  
④遺族年金 (誰の ) (0) ⑤勤め先収入(誰の ) (0) ⑥生活保護(0)  
⑦その他 ( ) (0)  
世帯月収 ( ) 円単位(1)